

愛媛支部

設置手話通訳者の輪



愛媛県内各地の設置通訳者が集まって、定期的に会議を開催しています。市内で一人だけの設置という人や、採用や異動で初めて担当することになった人など、ふだんは心細い思いをしている場合があります。この会議は、同じ立場の人が集まる貴重な機会です。会議では、情報交換をしたり、通訳をめぐる最新の状況や健康対策について学習したりしています。



7月の会議では、愛媛県の意味疎通支援事業の担当の方を講師にお迎えしてお話を伺い、通訳者養成・派遣の現状や働き方改革に向けての情報などを知ることができました。同じ「設置通訳者」の立場といっても、自治体や団体ごとに状況や役割は異なっています。また、制度や通信技術などもどんどん新しくなっています。ろう者の生活に直接的・間接的に関わるそれぞれの立場の人が集まって話し合える場を、これからも大切にしていきたいと思っています。

いいね！ 香・通・研

香川支部

香通研では恒例となった「これからの班」交流会を6月30日（日）に香川県聴覚障害者福祉センターにて開催しました。会員歴1年～3年の方限定で、これからも長いお付き合いをしていただくために、香通研を身近に感じていただくことを目的としています。今回も、15名（会員9名・役員6名）の参加があり、なごやかな雰囲気の中で、学習・交流ができました。今回の目玉は、組織部のアイデアで手作りの「香通研かるた」です。取り札には指文字が書いてあり、役員の写真入りのもので、右に掲載している2枚のように香通研に関することを元に作ったものがあります。遊びながら香通研を知ってもらえることができました。



手話学習者の情報満載、しっかり読もうね研究誌

今年度は新規会員の入会数が17名となっています。継続会員さんを大切にしつつ、新規会員さんが来年度も継続してくれるように様々な活動をしたいと思っています。



目標人数95、今年度も達成できるといいな

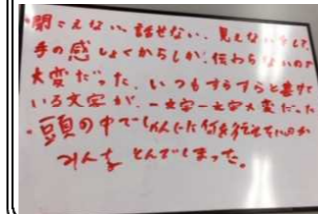
あさいと 福祉

6月16日 2019夏の大学習会を開催

講師は本部理事組織部の小山秀樹氏。参加者24名（内1名は未会員）で午前中は組織部の学習、午後からは「手話この魅力ある言葉」を見てろう者の話から学びました。午前の部「高知が元気に」をテーマに終始やさしい語り口で話されました。『なぜ通研に入って運動するのか』をこの言葉は一切使わずに伝えてくださいました。アンケートの中に「自分のような手話の下手な者、そして統一試験は落ちるわ、検定試験も受けるのを止めるような者でもいていいんだと改めて思いました」とあった事が嬉しく思いました。

午後の部は、手話を学んでいる年数別に4つのグループに分かれてVDを細かく区切り見ました。冒頭の名前を何回も見てグループで相談をして答えをホワイトボードに書きます。皆、同じではありません。また見ます、そして皆が分かったところで次に進む学習でした。また来てほしいとの声か沢山あり充実した一日でした。

高知支部



「みんなの学習会」

8月4日（日）、聴覚障害者制度改革推進徳島本部主催で「第2回みんなの学習会」を開催しました。

今年は、「聞こえない、話せない、見えない」を体験してもらい、意思を伝える方法をそれぞれで模索するワークショップを行いました。グループに分かれ、聞こえない人、話せない人、見えない人がいる中で自己紹介や伝言ゲーム、絵手紙の作成を体験しました。初めての経験で伝えあうことの難しさを感じ、どうやって伝えるのかがわからず苦勞している様子が見られましたが、苦戦しながらもなんとか伝える工夫を模索し、同じ目的に向かって取り組みをしました。「はじめてのワークショップということで伝達が難しかったのかな」というところがありましたが、楽しく体験できました。見えない、きこえない、話せない方につたえることは難しさがありました。」等感想も寄せられました。体験を通じて、言いたいことを伝えるには、伝える気持ちを持ち何とか伝えようと努力することが大切なんだということを参加者みんな確認できたと思います。

徳島支部